

巻 頭 言

本学では建学の精神であるキリスト教精神による生命の尊厳と隣人愛に基づき、大学の使命である教育・研究・地域貢献を教職員が一丸となって推進しています。本学の歴史を振り返れば、1969年に開設しました聖隷学園浜松衛生短期大学に始まり、1992年には社会の流れ、時代の流れを先取りする形で4年制の看護大学を開設しました。その後、社会福祉学部、リハビリテーション学部、そしてそれぞれの大学院修士課程を設置し、2008年には3領域を総合した大学院保健科学研究科博士後期課程を開設することができました。これらにより、この地域では唯一の保健医療福祉の専門職業人を育成する高等教育機関として発展してきています。

2009年10月には保健福祉実践開発研究センターを開設いたしました。2005年より保健医療福祉分野における組織的な社会貢献の推進のために活動しておりました地域支援研究所を発展的に解消し、地域に開かれた大学としてより幅広く、より皆様方と密着して、地域に、そして臨床・福祉の実践現場に根付いた活動、情報の集積・発信をしていきたいという願いをこめて、新たな一歩を踏み出したものです。

この年報第1号は、私たちセンターの最初の歩みをまとめたものになります。このセンターが大学と地域の接点となり、この地域の保健医療福祉分野のレベルがますます向上・発展していくことに寄与できますことを切に願っています。

2010年11月

聖隷クリストファー大学
学 長 小 島 操 子